

おほどものすくねやかもち
大伴宿禰家持の秋の歌三首

一五九七番

秋あきの野のに 咲さける秋萩あきはぎ 秋風あきかぜに
秋あきの露つゆ置おけり なびける上うへに

一五九八番

さ雄鹿をしかの 朝立あさたつ野辺のへの 秋萩あきはぎに 玉たまと見みるまで
置おける白露しらつゆ

一五九九番

さ雄鹿をしかの 胸別むねわけにかも 秋萩あきはぎの 散ちり過すぎにけ
る 盛さかりかも去いぬる